

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-35351

⑬ Int. Cl.⁵

G 06 F 15/20

識別記号

5 9 0 Z
5 8 6 J

庁内整理番号

7165-5B
7165-5B

⑭ 公開 平成3年(1991)2月15日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 文書処理システム

⑯ 特 願 平1-169560

⑰ 出 願 平1(1989)6月30日

⑱ 発 明 者 今 村 泰 介 東京都府中市東芝町1番地 株式会社東芝府中工場内
 ⑲ 出 願 人 株 式 会 社 東 芝 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地
 ⑳ 代 理 人 弁 理 士 鈴 江 武 彦 外3名

明 細 書

1. 発明の名称

文 書 処 理 シ ス テ ム

2. 特許請求の範囲

承認印イメージが登録される承認印イメージデータベースと、

この承認印イメージデータベースに登録する承認印イメージを第1の条件による保護のもとで作成する承認印イメージ作成手段と、

上記承認印イメージデータベースに登録されている承認印イメージのみが配置可能な文書構造内の承認印用領域を定義する承認印用領域定義手段と、

この承認印用領域定義手段によって定義された上記文書構造内の承認印用領域に、上記承認印イメージデータベースに登録されている承認印イメージを第2の条件による保護のもとで配置する承認印捺印手段と、

上記承認印イメージデータベースに登録されている承認印イメージ以外のイメージが画面上で

上記承認印用領域に表示されるのを抑止すると共に、上記承認印イメージを対象とするコピー操作を抑止する第1の承認印保護手段と、

上記承認印用領域が定義された文書の印刷出力に際し、上記承認印イメージデータベースに登録されている承認印イメージ以外のイメージが上記承認印用領域内に印刷されることを抑止する第2の承認印保護手段と、

を具備することを特徴とする文書処理システム。

3. 発明の詳細な説明

〔発明の目的〕

(産業上の利用分野)

この発明は、承認印の捺印を電子的に行う文書処理システムに関する。

(従来の技術)

文書の承認行為の一形態として、承認印の捺印が知られている。この捺印行為は、文書(文書本体)をワードプロセッサなどの文書処理システムで作成するようになって、手作業で行われるのが一般的であった。そこで、承認印の捺印も文

書処理システムにおいて電子的に行えることが要求されている。

さて、文書処理システムにおいて承認印を電子的に捺印する機能を実現しようとする、次の①、②の要素を持つ方式が考えられる。

①承認印はイメージとして作成してデータベースに登録し、そのイメージの作成、変更、登録、削除といった作業に対してはパスワード等の手段を用いて或る特定の限られた人のみが行えるようにする。

②文書内に承認印を押すときには、上記①で作成登録しておいた承認印イメージを用いて文書内の承認印欄に貼り込む。但し、①において各々の承認印イメージ毎にパスワードを付加し、そのパスワードが割当てられた特定の個人以外は該当する承認印イメージが使用できないようにする。

ところで、近年の文書処理システムでは、イメージのコピー等を画面上で簡単に行うことができるようになっている。また、高密度のイメージスキャナを用いて印刷物から所望のイメージを文

(承認印が電子的に捺印された画面上の文書または印刷文書)から承認印イメージをコピーしたり、偽の承認印イメージを作成して、画面上で文書内の承認印欄に偽の承認印を捺印することができるという問題があった。

この発明は上記事情に鑑みてなされたものでその目的は、承認印を用いた文書の承認行為の電子化が図れ、しかも偽の承認印イメージを作成したり、承認印が電子的に捺印された印刷文書からイメージスキャナによって承認印イメージを切り出したとしても、この種の承認印イメージを用いて電子的な捺印を行うことが確実に防止できる文書処理システムを提供することにある。

〔発明の構成〕

(課題を解決するための手段)

この発明は、承認印イメージが登録される承認印イメージデータベースと、この承認印イメージデータベースに登録する承認印イメージを第1の条件による保護のもとで作成する承認印イメージ作成手段と、上記承認印イメージデータベース

(2)

書処理システム内に読み込み、画面上で切り貼りすることも可能である。したがって上記の方式では、承認印イメージが貼り込まれた(即ち承認印が電子的に捺印された)画面上の文書から承認印イメージを切り出してコピーしたり、承認印が電子的に捺印された印刷文書から承認印のイメージをイメージスキャナによって文書処理システムに読み込み、画面上で必要イメージを切り出した後に文書内の承認印欄に貼り込むことが不特定多数の人によって行われる虞がある。

(発明が解決しようとする課題)

上記したように従来は、承認印を用いた文書の承認行為を文書処理システムで実現するために、この承認行為に必要な承認印イメージの作成と作成した承認印イメージを用いた文書内の承認印欄への貼り込みを、パスワードを用いて特定の個人だけが行えるようにしても、文書処理システムが持つコピー機能、イメージ作成機能、イメージ入力機能および入力イメージを切り貼りする機能を利用することにより、不特定多数の人が他の文書

に登録されている承認印イメージのみが配置可能な文書構造内の承認印用領域を定義する承認印用領域定義手段と、上記文書構造内の承認印用領域に、承認印イメージデータベースに登録されている承認印イメージを第2の条件による保護のもとで配置する承認印捺印手段と、上記承認印イメージ以外のイメージが画面上で上記承認印用領域に表示されるのを抑止すると共に、承認印イメージを対象とするコピー操作を抑止する第1の承認印保護手段と、文書の印刷出力に際し、上記承認印イメージ以外のイメージが承認印用領域内に印刷されることを抑止する第2の承認印保護手段とを設けたことを特徴とするものである。

(作用)

上記の構成によれば、承認印用領域には、承認印イメージデータベースに登録されている承認印イメージだけしか配置できず、しかも承認印イメージの配置は第2の条件(例えば同一イメージに付されるパスワード)の保護のもとで行われる。即ち上記の構成によれば、承認印イメージデータ

(3)

ベース内の承認印イメージを用いて承認印用領域に承認印を電子的に捺印する操作は、上記第2の条件を満たす人(特別の権限を有する人)に限られ、また第3者が偽の承認印イメージを作成しても、第1の条件(例えばパスワード)を満たさない限りは承認印イメージデータベースに登録されず、したがって正当な承認印イメージとしての扱いを受けないため、このような偽の承認印イメージが承認印用領域に配置される虞はない。このことは、印刷文書からイメージスキャナによって承認印用領域のイメージを読み取り、そこから承認印イメージを切り出して利用しようとする場合にも同様である。また、承認印用領域が定義された文書と偽の承認印イメージを画面表示時または印刷出力時に合成しようとしても、偽の承認印イメージが承認印用領域内に表示または印刷されることが第1の承認印保護手段または第2の承認印保護手段によって抑止されるため、この点からも第3者による承認印の捺印が行われる虞はない。

(実施例)

第1図はこの発明の一実施例に係る文書処理システムのブロック構成を示す。同図において、11は承認印イメージが登録される承認印イメージデータベース、12は承認印イメージデータベース11に登録する承認印イメージ(承認印イメージオブジェクト)を第1のパスワードP1の保護のもとで第2のパスワードP2を付して作成する承認印イメージ作成ツールである。承認印イメージ作成ツール12は、承認印イメージの作成の他に、パスワードP1の保護のもとで承認印イメージデータベース11への承認印イメージ登録、登録した承認印イメージの変更並びに削除の機能を持つ。13は各種文書が格納される文書ファイル、14は文書の作成・編集機能を有する文書編集ツール、15は文書編集ツール14によって作成・編集される文書等の表示に供される表示モニタ、16は図示せぬプリンタ機構を用いて文書等の印刷を行う印刷ツールである。

文書編集ツール14は、承認印イメージデータ

ベース11に登録されている承認印イメージのみが配置可能な文書構造内の承認印用領域(承認印欄)17をパスワードP1の保護のもとで定義する承認印用領域定義機構21と、承認印用領域定義機構21によって定義された文書構造内の承認印用領域17に、承認印イメージデータベース11に登録されている承認印イメージを同イメージに付されているパスワードP2の保護のもとで配置する承認印捺印機構22とを有している。承認印用領域定義機構21は、承認印用領域17の定義(設定、作成)の他に、変更、削除の機能を持つ。文書編集ツール14は更に、各種イメージのコピーおよびペースト(貼り込み)を行うためのコピー&ペースト機構23と、文書等を表示モニタ15に表示するための管理を行う文書表示管理機構24と、コピー&ペースト機構23による承認印イメージのコピーを抑止(禁止)すると共に、正当な承認印イメージ(承認印イメージデータベース11に登録されている承認印イメージ)以外のイメージ(印刷文書等からイメージスキャナを用いて読み込んだ承認印イメ

ージや、特別の権限を持たない人が作成した承認印イメージデータベース11に登録不可能な偽の承認印イメージ等)が文書表示管理機構24によって承認印用領域17内に表示されることを抑止(禁止)する承認印保護機構25とを有している。また印刷ツール16は、正当な承認印イメージ以外のイメージが承認印用領域17内に印刷されることを抑止(禁止)する承認印保護機構26を有している。

次に、第1図の構成の動作を第2図の流れ図を参照して説明する。

まず承認印イメージ作成ツール12は、ユーザからの指示に応じ、パスワードP1の保護(パスワードP1を用いたチェック)のもとで指示された承認印イメージ(承認印イメージオブジェクト)を作成し、第2図において符号1で示されるように、承認印名、承認印イメージ、およびユーザ指定のパスワード(或はユーザに予め割り当てられたパスワード)P2の対から成る承認印イメージ情報を承認印イメージデータベース11に登録する(ステップS1)。ここで、パスワードP1を知

らないユーザからの指示は承認印イメージ作成ツール12において排除され、上記の承認印イメージ作成・登録は行われない。

次に文書編集ツール14の承認印用領域定義機構21が起動されると、この承認印用領域定義機構21はユーザからの指示に応じ、パスワードP1の保護のもとで文書ファイル13に格納されている指定(文書の文書構造内に承認印用領域17を定義(設定)する(ステップS3))。やがて文書編集ツール14内の承認印捺印機構22が起動されると、この承認印捺印機構22はユーザから指示された承認印イメージをパスワードP2の保護のもとで承認印イメージデータベース11から取り出し、この取り出した承認印イメージを、文書ファイル13に格納されている指定された文書上の承認印用領域17

(承認印用領域定義機構21によって定義された承認印用領域17)に配置する(ステップS3)。これにより、承認印の捺印が電子的に行われたことになる。ここで、パスワードP2を知らないユーザからの指示は承認印捺印機構22において排除さ

は入力したイメージ(偽の承認印イメージ)を合成して表示することは不可能である。ここでは、表示対象文書のうちの承認印イメージを除いた部分がまず表示され、次に承認印用領域17が例えば白く塗りつぶされ、この状態で承認印イメージが承認印用領域17に表示される。承認印イメージが承認印用領域17に表示されているときに、コピー&ペースト機構23が起動され、承認印用領域17内のイメージのコピー或はペーストが指示されることがある。しかし本実施例では、承認印用領域17内のイメージを対象とするコピー&ペースト機構23のコピー或はペースト処理は、承認印保護機構25によって抑止される。これは、承認印イメージデータベース11内の承認印イメージについても同様である。

最後に印刷ツール18が起動されると、この印刷ツール18はユーザによって指定された文書を文書ファイル13から取り出し、用紙に印刷出力する(ステップS4)。この結果、承認印用領域17が定義され、同領域17に承認印イメージが配置され

(4)れ、上記の承認印捺印は行われない。また承認印捺印機構22においては、特別の権限を持たない人が作成した承認印イメージデータベース11に登録不可能な偽の承認印イメージ、更には印刷文書の承認印用領域17からイメージスキャナを用いて読み込まれて切り出された承認印イメージをユーザ指定の文書の承認印用領域17に配置することも抑止される。また、承認印イメージデータベース11に格納されている正当な承認印イメージを承認印用領域17以外に配置することも抑止される。

さて、ステップS2において承認印用領域定義機構21によって承認印用領域17が定義された文書、更にはステップS3において承認印捺印機構22によって承認印用領域17に承認印が捺印された文書は、その都度文書表示管理機構24によって表示モニタ15に表示される。この文書表示では、承認印用領域17に関しては承認印保護機構25によって特殊に扱われ、同領域17には承認印イメージだけが表示されるように制御される。したがって、文書の承認印用領域17上に第三者が任意に生成或

ている文書であれば、承認印が捺印された文書が印刷出力されることになる。上記の印刷においては、印刷ツール18内の承認印保護機構26の動作により、文書の承認印用領域17上に第三者が任意に生成或は入力したイメージ(偽の承認印イメージ)を合成して印刷することが抑止される。

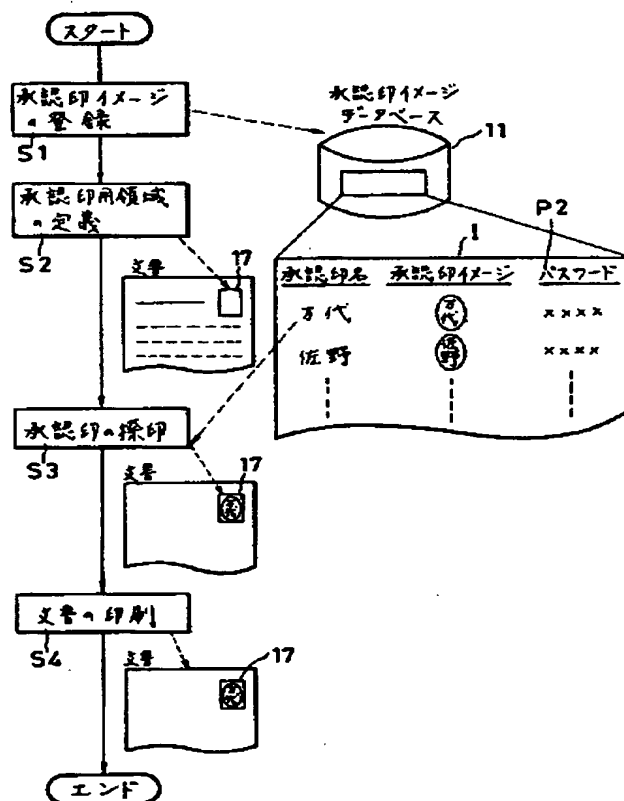
【発明の効果】

以上詳述したようにこの発明によれば、承認印の捺印対象となる文書構造内に承認印用領域という特別の領域を設定し、この領域にはパスワード等の保護のもとで作成された承認印イメージだけがパスワード等の保護のもとで配置でき、更にこの領域に他のイメージを重ねて表示或は印刷することが抑止される構成としたので、承認印を用いた文書の承認行為の電子化において、偽の承認印イメージを作成したり、承認印が電子的に捺印された印刷文書からイメージスキャナによって承認印イメージを切り出したとしても、この種の承認印イメージを用いて電子的な捺印を行うことを確実に防止することができる。

第1図はこの発明の一実施例に係る文書処理システムのブロック構成図、第2図は同実施例における承認印イメージ作成から承認印が捺印された文書の印刷までの動作を説明するための流れ図である。

第 1 区

出願人代理人 弁理士 鈴江 武彦



第 2 図